



ユーザ エージェントの設定

ユーザ エージェントの設定のウィンドウを使用すると、クライアント ユーザ エージェントごとにリーチャビリティ バージョンを設定できます。リーチャビリティ バージョンを設定すると、Cisco Unified Personal Communicator の旧バージョンとの下位互換性を提供できます。デフォルトのリーチャビリティ バージョンは 2 です。この値は、特別に設定されていないすべてのユーザ エージェントに使用される RFC 4479 に準拠しています。

ユーザ エージェントの検索

Cisco Unified Presence Server では、具体的な検索条件に基づいて特定のユーザ エージェントを検索できます。特定のユーザ エージェントを検索するには、次の手順を実行します。



(注)

ブラウザ セッションでの作業中、クライアント マシンの cookie により、検索 / 一覧表示の設定が保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニューに戻る、あるいは、ブラウザを閉じてから新しいブラウザ ウィンドウを開くと、検索の設定を変更するまで、Cisco Unified Presence Server の検索の設定がシステムで維持されます。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified Presence Server] > [プレゼンスエンジン] > [ユーザ - エージェント設定] の順に選択します。

[ユーザ - エージェントの検索と一覧表示 (Find and List User-Agent)] ウィンドウが表示されます。ドロップダウン リスト ボックスを使用してユーザ エージェントを検索します。

ステップ 2 ドロップダウン リスト ボックスから、次のいずれかの検索条件を選択します。

- が次の文字列で始まる
- が次の文字列を含む
- が次の文字列と等しい
- が次の文字列で終わる
- が空である
- が空ではない

ステップ 3 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、[検索] をクリックします。



ヒント

データベースに登録されているすべてのユーザ エージェントを検索するには、検索テキストを入力せずに [検索] をクリックします。

検出されたユーザ エージェントのリストが表示されます。

ステップ 4 レコードのリストから、検索条件に一致するユーザ エージェントをクリックします。

選択したユーザ エージェントがウィンドウに表示されます。

追加情報

P.14-5 の「関連項目」を参照してください。

ユーザエージェントの設定

この項では、Cisco Unified Presence Server データベースで、ユーザエージェントを追加または更新する方法について説明します。

手順

ステップ 1 次のいずれかのタスクを実行します。

- ユーザエージェントを追加するには、[Cisco Unified Presence Server] > [プレゼンスエンジン] > [ユーザ - エージェント設定] の順に選択し、[新規追加] をクリックします。
- ユーザエージェントを更新するには、P.14-2 の「ユーザエージェントの検索」の手順に従ってユーザエージェントを検索します。

[ユーザ - エージェントの設定 (User-Agent Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 表 14-1 の説明に従って適切な設定を入力します。

ステップ 3 データを保存するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [保存] アイコンをクリックします (または、ウィンドウの下部に表示される [保存] ボタンをクリックします)。

追加情報

P.14-5 の「関連項目」を参照してください。

ユーザエージェントの設定値

表 14-1 で、ユーザエージェントの設定値について説明します。関連する手順については、P.14-5 の「関連項目」を参照してください。

表 14-1 ユーザエージェントの設定値

フィールド	説明
クライアントユーザ-エージェントバージョン (Client User-Agent Version)	このパラメータは、クライアントユーザエージェントのヘッダーを指定します。 最大文字数：255
リーチャビリティバージョン (Reachability Version)	このパラメータは、クライアントごとにプレゼンスドキュメントで使用されるリーチャビリティバージョンを次のとおり指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 1 - draft-ietf-simple-simple-rpid-07 2 - RFC 4479

ユーザエージェントの削除

この項では、ユーザエージェントの削除方法を説明します。

手順

- ステップ 1** P.14-2 の「ユーザエージェントの検索」の手順に従いユーザエージェントを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除するユーザエージェントを選択します。
- ステップ 3** ユーザエージェントを削除するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [選択項目の削除] アイコンをクリックします（または、ウィンドウの下部に表示される [選択項目の削除] ボタンをクリックします）。

ユーザエージェントが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence Server により、そのユーザエージェントが削除されます。ユーザエージェントが使用中の場合は、メッセージが表示されます。

追加情報

P.14-5 の「関連項目」を参照してください。

ユーザエージェントのコピー

この項では、ユーザエージェントをコピーする方法について説明します。

手順

-
- ステップ 1** P.14-2 の「[ユーザエージェントの検索](#)」の手順に従いユーザエージェントを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストからコピーするユーザエージェントを選択します。
- ステップ 3** ユーザエージェントをコピーするには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [コピー] アイコンをクリックします（または、ウィンドウの下部に表示される [コピー] ボタンをクリックします）。
- [ユーザ - エージェントの設定 (User-Agent Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4** [表 14-1](#) の説明に従って適切な設定を入力します。
- ステップ 5** [保存] をクリックします。
-

追加情報

[P.14-5 の「関連項目」](#) を参照してください。

関連項目

- [ユーザエージェントの検索 \(P.14-2\)](#)
- [ユーザエージェントの設定 \(P.14-3\)](#)
- [ユーザエージェントの削除 \(P.14-4\)](#)

